

## 令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	デジタル空間を活用した木島平米PR推進事業
事業主体 (連絡先)	木島平村役場 産業企画室 下高井郡木島平村往郷914番地6
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,411,665円 (うち支援金: 1,702,000円)

### 事業内容

「米・食味分析鑑定コンクール国際大会」(以下「米コンクール」)で14年連続入賞するなど、木島平村は優良米産地として全国的に認知され始めているが、新型コロナウイルス感染症の影響等で米価が下がっている傾向にある。今までは主に対面によるPR活動を図ってきたが、新型コロナウイルス感染症の影響により軒並み行えず、感染予防対策を監視した「新たな生活様式」に対応したPR方法の構築と展開が求められている。

本交付金を活用し新たな生活様式にとし定着したインターネットでの消費活動に対応し、デジタル空間を活用した非対面でも効率的な木島平米のPR及び購買に繋げていくために事業を実施した。

- ①デジタル講習会
- ②デジタルパンフレット作成
- ③SNS広告
- ④金紋錦オンラインイベント

### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①既存のPR以外の方法の試行することにより今後も活用可能な媒体やデータを得られた。
- ②支援金を活用しSNSやデジタルパンフレットなど多岐にわたる方法で木島平米をPRできた。

### 今後の取り組み

令和5年度以降も本支援金などを活用し、地域一体で木島平村をさらなる優良米産地として推進していくとともに、本事業で展開した新たな生活様式に対応したPR方法の構築をさらに展開・派生を行い、デジタル空間を有効的に活用し、木島平米を更にPRしていく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



### 【目標・ねらい】

- ①事業者自身のデジタル化への対応
- ②新たな生活様式に対応したPR方法の基盤づくり
- ③木島平米の販売促進

### ※自己評価【B】

#### 【理由】

非対面でも効率的なPRを実施できた。

また、デジタル講習会では農業者だけでなく様々な業態の村内事業者が参加をし、デジタルについて知る良い機会となった。